

令和3年度（2021年度）第1回根室振興局農業農村整備事業等環境情報協議会\_議事録  
 意見交換会場所：根室振興局3階大会議室 時間：13:00～15:40

・次第 意見交換及び情報収集
1) 開会（事務局）
2) 挨拶（藤原地域産業担当部長）
3) 座長選出 ※宗岡委員が座長として選出
4) ①環境情報協議会の設立経緯について（事務局） ②田園環境整備マスタープランについて 概要：事務局 各町：別海町（事務局）、中標津町、標津町、羅臼町は各担当
③実施地区における環境配慮事例（振興局担当） ④計画策定地区の説明及び意見交換等 ※下記、議事録のとおり

■実施地区における環境配慮事例について
○農村振興課酒巻係長 資料P22～P27に沿って説明。
○宗岡委員 過年度の環境情報協議会で提案された標津サーモン科学館との協議について、実施段階での魚類調査等の環境配慮に関する事例の報告について了解した。
○外山委員 稀少な魚類に「ウチダザリガニ」の記載があるが「ニホンザリガニ」の間違い。ウチダザリガニは外来種で駆除する対象である。 環境DNA調査は新しい取組であり、施工箇所以外の配慮についても参考となる良い試みである。

■美原地区について
○農村振興課小野係長 資料P28～P42にそって説明。
□環境情報協議会における報告事項などについて
○宗岡委員 今回は、コロナ禍により現場調査が出来ない状況であり、現地もよくわからないことから、環境情報協議会で報告すべき事項として、野鳥、野生動物に対する配慮などで、外山委員へ意見を求めたい。

○外山委員

資料にも記載のとおり、繁殖期への配慮等が必要。特に丹頂などの希少種については、専門家への聞き取りを行うなど、事業推進に反映してほしい。

□草地造成Ⅱに関する対応（工法）などについて

○外山委員

草地造成の②（山崎浩二地先）で、土砂が河川へ流入しているように見えるが、環境への影響を緩和する方法（工法）について宗岡委員へ意見を求めたい。

○宗岡委員

施工方法について、周辺からの土で不陸をならして均平にする、そして草地にするという整備の流れなのか、振興局へ確認したい。

○小野係長

そのとおり、周辺の土を活用した整備を予定している。

農作業の安全面確保と法面保護工を備え、環境配慮との両立した整備を考えている。

○宗岡委員

写真等の資料から、ほ場の傾斜は全体的に緩やかなものと確認でき、造成を行い植生が育てば充分定着し安定するものとする。

○臼井委員

法崩れの原因は、2016年8月の台風による影響と思われる。

今後も同様な降雨があれば、被害が再度発生することが懸念されることから、植林などの対策が必要ではないか。

○宗岡委員

土砂の流出を抑える対策工法のほか、河川までの区間を緩衝帯として、在来種による植林など、環境を保全するというような検討も必要ではないか。

○宗岡委員（まとめ）

1. 河川の生息生物、魚類、鳥類など、専門家から情報を収集した上で、工事の時期を判断するなど、環境への配慮を行った事業推進をしてほしい。

2. 造成による土砂の流出対策のほか、河川までの区間を緩衝帯として環境形成するなど併せて検討してほしい。

■中標津中部第2地区について

○農村振興課小野係長

資料P43～P58にそって説明。

本地区における考え方などについて宗岡委員から外山委員に確認

外山委員

伐採が少ないとともに伐採後の跡地整備と言うことで、鳥類などへの影響は少ないと判断します。他地区と同様必要に応じて環境配慮に関する各種専門家の意見を聞いてほしい

管理道路の整備について、宗岡委員が担当者へ確認

小野係長

道路構造について説明（車道幅員：4.0m、造成幅員：5.0m、細粒度アスコン3.0cm、アス安定処理：5.0cm、下層路盤：15.0cm、凍上抑制層：27.0cm）

また、利用形態は取付道路と同様の扱いとして整備することについても説明

宗岡委員（まとめ）

特に意見はありません。

#### ■知床標津第2地区について

農村振興課小野係長

資料P59～P78にそって説明。

ほ場番号43-1-2における整備手法について宗岡委員から外山委員に確認

外山委員

ほ場番号43-1-2については、事前に振興局と農家地先とである程度配慮を行った結果を提示されているものと判断するが、それでも伐採面積も大きく、分断されるような状況も推測される。このため、鳥類等の調査と希少生物の有無について十分な事前調査が必要と考えます。

宗岡委員

伐採面積を少なくするだけでなく、防風林や林地を分断しない、鳥類や動物が行き来の出来るような配慮が必要と考えます。

外山委員、宗岡委員

防風林等の連続性に配慮した整備について、農業者や関係者と十分な検討が必要と考える。

なお、防風林等の連続性に配慮した整備については、事業概要表のマスタープランとの関係欄への記載をお願いする。

臼井委員

ほ場の形状は、正方形にすることが効率的と考えており、伐採とともにほ場の形状についても農業者との十分な打合せが必要と思います。

○宗岡委員（まとめ）

1. 森林伐採を行う場合、林帯の連続性など、野生動物への配慮を踏まえた農家との打合せをしてほしい。
2. 形状などについても、一筆ごとにきめ細かな打合せをしてほしい

■平和地区について

○農村振興課小野係長

資料P79～P83にそって説明。

本地区における考え方などについて宗岡委員から外山委員に確認

○外山委員

橋梁の整備に伴う部分では河川関係があることから、河川の専門家の意見を聞くなど、適切な調査と施工時期などについて検討を行い環境への配慮をしてほしい

事業に対する考え

○宗岡委員

道路事業は、事業上の効果だけでなく災害対応のほか生乳の効率的な輸送など、地域経済に対しても数字に表れないプラスアルファの効果が非常に高い有効な整備と考えており、計画的に着実な進捗に努めていただきたい。

○宗岡委員（まとめ）

1. 道路整備は、地域経済において非常に効果の高い整備である。
2. 橋梁の整備などについては、河川との関係があることから、河川や魚類の専門家の意見を聞いてほしい

■計根別地区について

○中標津町仁木係長

資料P84～P89にそって説明。

これまでの事業変遷を踏まえた現在の管理状況について

○中標津町仁木係長

現在、中標津町では本地区の集落排水のほか、公共下水もあることから、ミックス事業

を活用して委託管理を行っている。

○宗岡委員（まとめ）

集落排水施設は、基準に基づいて汚水処理を行っており、希少動物などが見つければ対応が必要。

#### ■計根別南地区について

○農務課小倉主査

資料P90～P94にそって説明。

□本地区における考え方などについて宗岡委員から外山委員に確認

○外山委員

河川からの距離が離れており、事業による整備も軽微であり、記載のとおり環境への配慮を行いながら事業を進めていただくことで特に問題はないものとする。

□事業概要表のマスタープランとの関係欄への記載について

○宗岡委員

過去2年間の除草剤に関する議論を踏まえ、事業概要表のマスタープランとの関係欄への記載をお願いします。

□公社営という事業制度について確認

○農務課小倉主査

事業計画は農務課が担当、事業実施は公益財団法人北海道農業公社である。

○宗岡委員（まとめ）

議論を踏まえ適切な対応をお願いします。

#### ■豊原地区について

○農務課小倉主査

資料P95～P97にそって説明。

□本地区における考え方などについて宗岡委員から外山委員に確認

○外山委員

ほ場の整備が軽微なものであることから、特に問題はないと思われる。

○宗岡委員（まとめ）

特に懸案はありませんが、議論を踏まえ適切な対応をお願いします。

#### ■計根別北地区について

○農務課小倉主査

資料P98～P102にそって説明。

□本地区における考え方などについて宗岡委員から外山委員に確認

○外山委員

工事も排根線の除去と起伏修正で標津川までの距離があり、また、緩衝帯的に連続する林地帯を残していることから、河川への影響も考慮した理想的な環境と考えます。

環境を維持しながら、酪農を続けている両者の共存に繋がる地区と思います。

○宗岡委員（まとめ）

持続可能な農業と環境保全の両立が見て取れる問題の無い地区と考えます。

なお、これまでの地区と同様、議論を踏まえ適切な対応をお願いします。

#### ■今回の会議を通じた全体のまとめ等

○宗岡委員

本年度は、継続協議となるような案件はありませんでした。

□荒木委員より現在の丹頂の保護に関する、最新の情報について提供を依頼

○外山委員より回答

丹頂関係者の保護活動から、生息分布が拡大している。しかし、給餌以外に酪農家さんの飼料を食べるなどの新たな課題も出てきており、環境省や専門家などによる、共存に向けた議論がなされているところです。

○山下委員

事業を実施する上で、関係者が一丸となって自然環境にも配慮した内容となるよう検討されているということが分かりました。この地域は自然との共生が重要だと思いますので今後もより一層の環境保全に努めていただきたいと思います。

○臼井委員

事業の実施に向け、どのような検討がなされているかが分かり大変勉強になりました。農業機械の大型化は、営農作業の効率化が非常に重要であり、農道の整備のほか、ほ場の形状によっても大きく変化する。これは二酸化炭素の排出など環境に直結した問題であり、トータルでどのような形で整備をしていくことが良いのかなど、今後、皆さんと議論や情報の共有が出来ていけたらと考えている。

○外山委員

環境配慮の事例報告など、毎年ステップアップされており、各種の環境配慮についてしっかり考えているとともに、効率的な農業に向け整備されていることが分かりました。また、臼井委員のように農家さんの立場からのご意見も非常に勉強になりました。

○宗岡委員

それぞれの立場の委員のご意見が、環境情報協議会の中で対等に話され、議論し合うことにより、協議会の目的が達成されていくような場として、我々委員が参加して良かったと思えるような協議会にしていきたいです。

以上、事務局に進行が移り閉会